

内閣府 SIP 第3期課題の実証研究における個人情報の取り扱いについて

1. 本実証研究に関して

パフォーマンス課題を取り入れた授業によって児童の深い学びの実現を目指す実証研究を京都大学大学院 松下佳代教授を研究代表者として貴校にて実施します。本実証研究は内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」の研究開発テーマとして採択されています

(※)。

(※) 参考 URL

- 内閣府 HP 「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP：エスアイピー）」
➤ <https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/index.html>
- 内閣府 HP 「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」社会実装に向けた戦略及び研究開発計画
➤ https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/sip_3/keikaku/04_postcovid19.pdf
- 国立研究開発法人科学技術振興機構 HP 「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」
➤ <https://www.jst.go.jp/sip/pos/index.html>

2. 個人情報含むデータの対象と利用目的

(1) データの対象

- ① 本実証に関するアンケートの回答データやインタビュー内容
- ② 授業、ワークショップ及びインタビューで撮影した映像データや児童の作品（ご提供いただける場合）

(2) 利用目的

- ① 開発コンテンツの有効性に関する調査分析
- ② 上記分析結果の調査報告ならびに本実証研究の範囲における普及活動

3. 個人情報を含むデータの取り扱い

(1) 本実証研究における共同研究契約に基づき、京都大学等実証関係者のみアクセス可能な環境にて調査分析のために共同利用し、これ以外の外部委託や第三者提供は下記目的及び学術研究の目的を除き行いません。

- ① 裁判所や警察等の公的機関から法律に基づく正式な照会を受けて開示が請求され、これに応じる場合。
- ② ご本人およびその他の方の生命、身体および財産等を保護するため、やむを得ず関係機関に照会させていただく場合。

(2) 本実証研究結果を公表する場合、個人が特定されないように加工します。